

世界のデング熱流行状況(更新 1)

2010年2月1日 ProMED 情報

(1)コロンビア(Valle del Cauca)[El Pais]

カリCali市は最もデング熱が発生している都市の1つで、保健省によると、古典的デング熱患者が2010年になって218名発生しました。これは前年同期4倍以上です。また、2010年1月24日までに大学病院で、4名が死亡しました。Valleでは、デング出血熱での重症患者が22名発生しました。

(2)ベネズエラ(Miranda)[Entorno Inteligente]

州保健機関によると、1月17~23日の1週間にデング熱患者が28名発生しました。内訳は、Gualcaipuro6名、Carrizal3名、Acevedo4名、Independencia3名、Andres Bello2名、Brion、Lander、Paz Castillo、Simon Bolivar、Sucre、Zamoraはそれぞれ1名が発生しました。

(3)ブラジル(ミナス・ジェライス州)[O Globo]

同州ベロ・オリゾンテ Belo Horizonte 市では、今年に入って208名のデング熱診断確定患者が発生しました。状況は深刻で、保健衛生当局は防止処置を強化しました。イガラペー Igarape では、これまで9名の患者が都市部で確認されました。

(4)ブラジル(サンパウロ州リベイラン・プレト市)[EPTV]

リベイラン・プレト Ribeirao Preto 市では、2010年1月29日までに506名のデング熱患者が確認されました。他に、858名の疑い患者がデング熱検査を受けています。

(5)ブラジル(サンパウロ市)[Portal O Taboense]

Taboao da Serraに隣接しているサンパウロ市近郊では、デング熱に対する警戒態勢に入っています。Campo Limpo、Butanta、Morumbiは危険地域で、2010年になってそれぞれ数百名の患者が発生しています。

(6)ブラジル(マト・グロッソ・ド・ソル州)[Fatima News]

当局によると、同州ドウラドス Dourados 市では、1月28日現在でデング熱患者379名の届出がありました。これは前年比で1,805%の増加です。2009年から広まっているデング熱ウイルスの血清型2型が分離されました。

(7)インドネシア(東ジャワ州マラン市)[Jakarta Forum]

マラン市では2009年、1,073名がデング熱に感染し、そのうち17名が死亡しました。死亡した患者のほとんどが子供でした。保健省によると、現在の雨季の期間、リアウ州、ジャカルタ、西ジャワ州、西カリマンタン州、中部カリマンタン州、南カリマンタン州、西スラウェシ州、北マルク州でデング熱患者が増加しています。また、Bangka Belitung、東カリマンタン州、ゴロンタロ、Paluでもデング熱患者が報告されています。

(8)インドネシア(東ジャワ州 Lumajang)[Antara News]

2010年1月4週目までに、Lumajangではデング熱患者数が76名に達し、そのうち子供2名が死亡しました。2009年12月からの雨季により、患者数は増加し続けています。